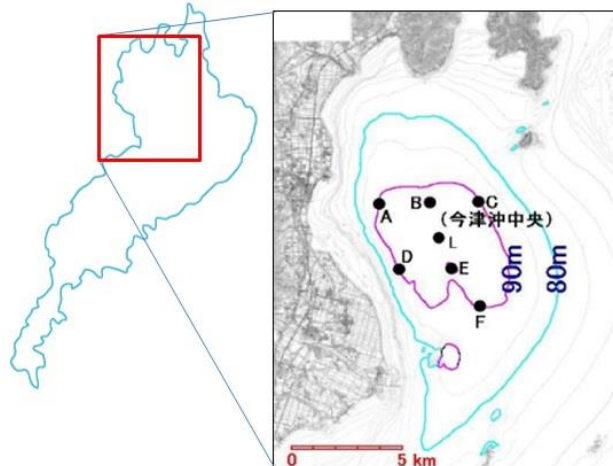


## 【参考】

北湖では、例年春季から初冬にかけて水温躍層が形成され、上層と下層の水の対流がなくなるため、底層DOが低下し、晩秋に最も低くなります。その後、冬の水温低下と季節風の影響により、水深の浅いところから徐々に全層循環が起こり、表層から底層で水温やDOなどの水質が一様となります。北湖今津沖の第一湖盆（水深約90m地点）では、例年2月上旬から中旬にかけて、全層循環が確認されていますが、平成30年度は昭和54年度の調査開始以降初めて全層循環が確認できず、令和元年度も2年連続全層循環が確認できませんでした。

### 1. 調査地点



C、L：定期調査地点

A、B、D、E、F：補足調査地点

< 第一湖盆水深90mの面積 >

琵琶湖全体の約5%

< 第一湖盆水深90m以深の水の容積 >

琵琶湖全体の1%未満

### 2. 【速報】調査結果（令和2年8月17日時点）

単位:mg/L

調査日	4月				5月		6月			7月		8月	
	4/7	4/17	4/21	4/27	5/11	5/25	6/8	6/22	6/29	7/6	7/20	8/3	8/17
A	8.7	8.6		9.4		7.6		7.1	6.5		5.1	2.6	2.4
B	8.8	8.7		8.5		7.6			6.7		4.7	2.5	2.1
C(今津沖中央)	8.7	8.9	8.7	8.5	8.3	7.7	6.7	6.1	6.1	5.5	4.5	4.0	3.0
D	9.3	8.6		9.1		8.4		7.6	6.4		5.2	3.3	3.1
E	9.0	8.7		8.6		7.8			6.1		4.4	4.7	1.4
F	9.2	8.8		8.6		7.8		6.7	5.5		4.5	2.7	2.2
L(第1湖盆中央)	9.0	8.7	9.0	8.6	8.7	8.1	7.1	6.6	6.6	5.8	4.2	3.1	1.6

\*   の部分は、水深別底層DO調査結果です。(水質測定計画には入っていない調査分です)

表1 令和2年度各地点の底層DO調査結果

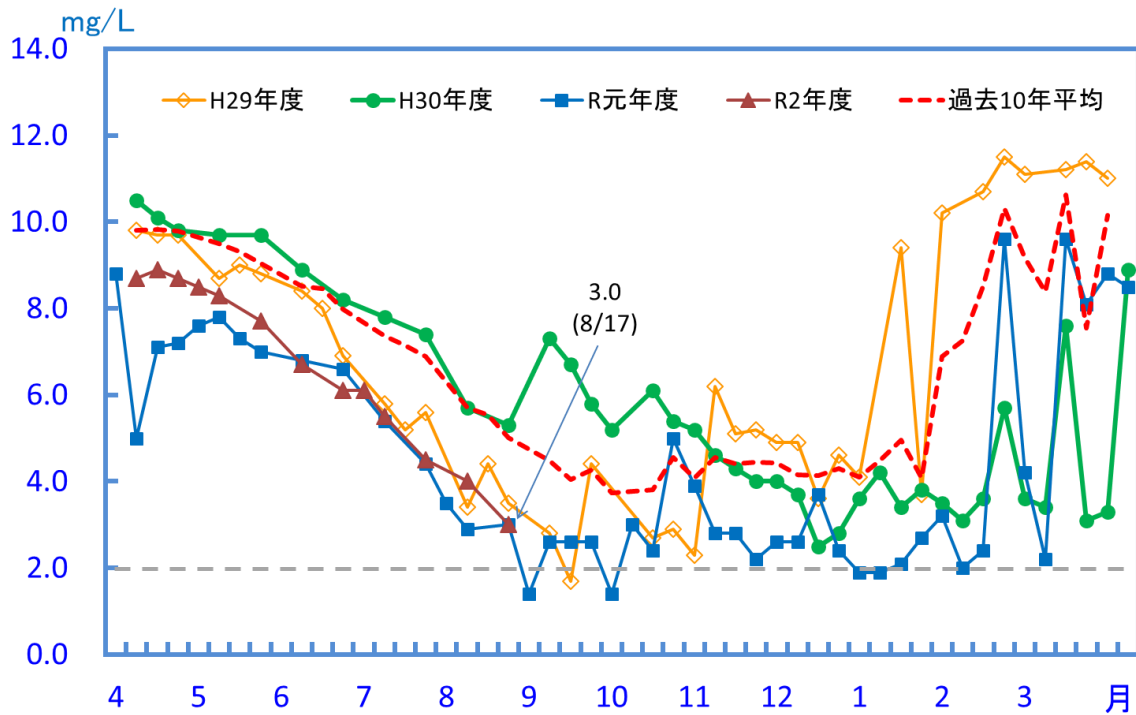
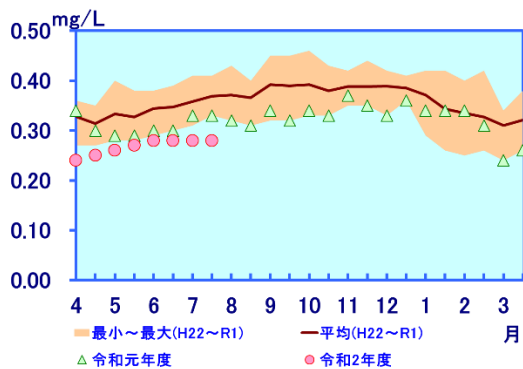


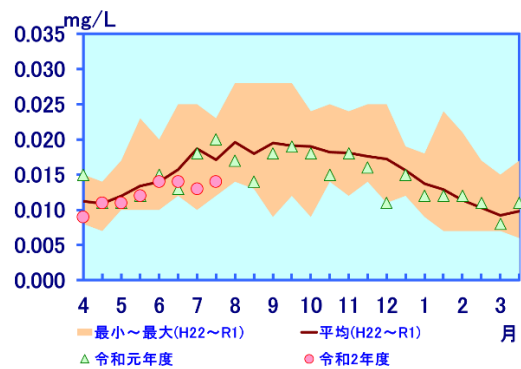
図1 C点の底層DO経月変動

※ 昭和54年(1979年)から測定を行っているC点(今津沖中央)の底層DO経月変動を示しています。

全窒素の経月変動(今津沖中央(C)底上1m)



全りんものの経月変動(今津沖中央(C)底上1m)



全マンガンの経月変動(今津沖中央(C)底上1m)

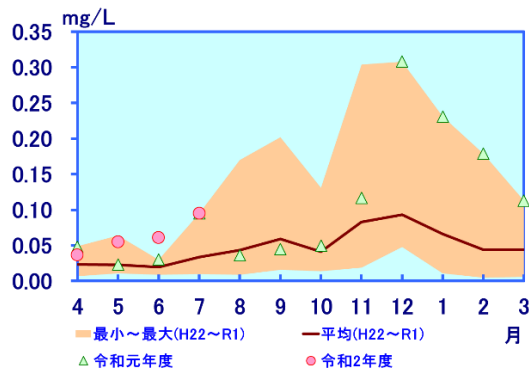


図2 今津沖中央(C点)底上1mの主要な水質の状況

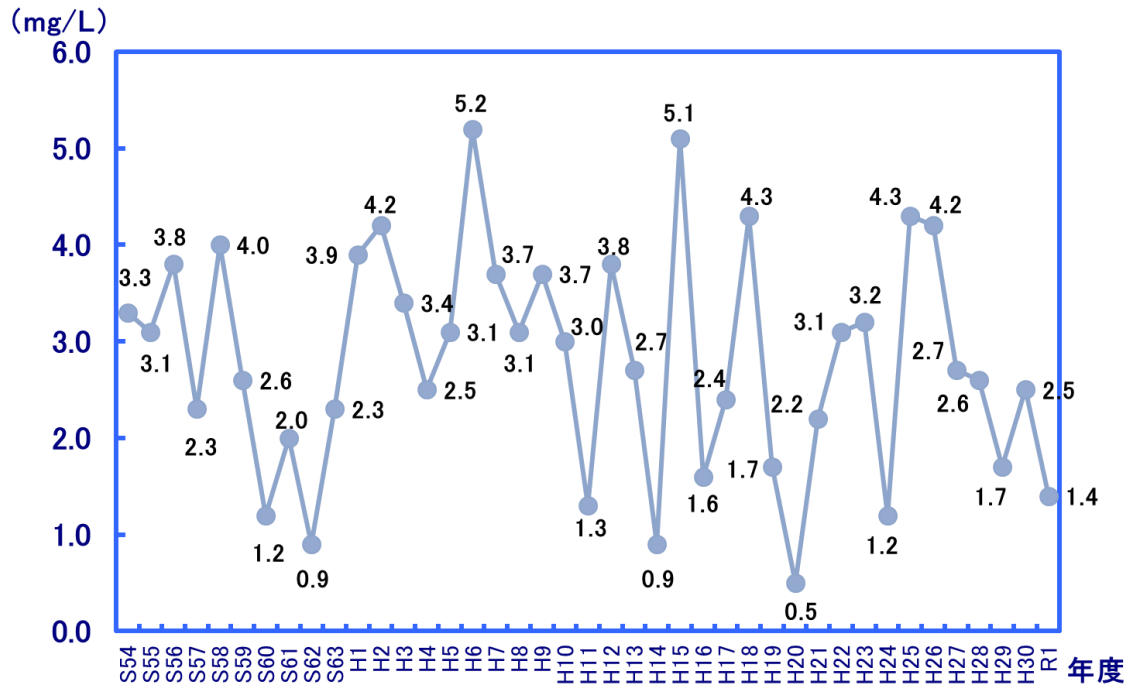


図3 C点における底層DOの年度最低値